

「今和泉小学校の小中一貫教育「史跡巡り」の取組」

1. 学校名	指宿市立今和泉小学校
2. 学年・人数	6年 9人
3. 日時・場所	(1) 学習会等の日時・場所 令和6年11月22日（金） 学習会（教科）：いぶ好きふるさと学 「西中校区史跡巡り」 場所：西指宿中校区内の史跡6カ所 (2) 発表の日時・場所 令和6年11月22日（金） 場所：西指宿中武道館
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 島津今和泉家墓地 （しまづいまいずみけぼち） 江戸時代 新永吉田の棚田 （しんながよしだのたなだ） 戦国～江戸時代 他4カ所 (2) 特徴 島津今和泉家墓地 14基の墓と100基あまり立ち並ぶ灯籠は、その地を治めた殿様の威厳を今日に伝えていると言われている。 新永吉田の棚田 棚田の後ろには池田湖や開聞岳が見え、その美しい風景は心を和ませてくれる。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	3グループに分かれ、2カ所ずつ校区内の史跡や文化財を見学した。そして、タブレット端末を使って発表スライドを作成した際、発表内容に誤りがないか、どのような順番で発表すればよいかなど、ボランティアガイドの方のアドバイスも参考にしながら仕上げる事ができた。
6. 取組の様子（研究発表等）	 地域ボランティアガイドの説明を聞いたり、質問したりしている。  分かったことや調べたことについてグループごとに発表。
7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 これまで総合的な学習の時間で、地域の文化や歴史について学習してきたが、今回実際に史跡や文化財を訪ね、ガイドの方の説明を聞いたことでさらに詳しく知ることができた。発表会ではまだ自分たちの知らない「地域の宝」があることが分かり、今度は自分たちが観光客などに案内したいと思う。 【教員】 小中一貫教育として6年と中1との3校共同学習を実施し、事前にインターネットで調べたことで、興味をもって活動に取り組んでいた。現物に触れる体験はとても貴重であり、遺産を大切に語り継ぐ地域ボランティアの方の思いにも触れることができ、郷土愛を深めるよい機会になったと感じる。